

## いきいき第84号(平成15年3月号)

### 【目次】

- ・子どもたちの確かな学力の育成を目指して - 本所中・鐘淵中で二学期制を試行します -
- ・学校選択制度を実施しました - 区内の小学校は4校・中学校は2校で抽選 -
- ・雪の中での異文化体験
- ・ボランティア募集
- ・卒業証書の西暦記載について
- ・善行表彰されました
- ・墨田育英会に寄付
- ・教育委員会の動き(10月~12月)

### 子どもたちの確かな学力の育成を目指して 本所中・鐘淵中で二学期制を試行します

学校週五日制の完全実施から1年がたとうとしています。新しい学習指導要領も本格実施となり、墨田区内の幼稚園、小・中学校において様々な新しい取り組みが行われてきました。この1年を振り返り、現在、進められている学校教育の状況についてお知らせします。

#### 二学期制の試行

学校週五日制の教育の在り方について、様々な議論や見直しの中で、学力向上などのために1年間を今までの三学期制から、前期・後期の二学期制に変えてみてはどうかという考えが出てきました。

教育委員会では、小学校・中学校の校長会やPTAの代表の方々に検討委員として、二学期制の利点や実施上の課題などについて検討をお願いしました。

検討委員会の中間まとめでは、二学期制の利点として、「今まで以上に授業時数が確保できる。夏休みを有効に活用したいいろいろな学習計画が立てられる。何より教師が子どもたちと今まで以上にかかわりあえるようになれる。」といった点が挙げられました。一方、通知表が年3回から2回になると子どもたちへの励ましの機会や、家庭との連携が薄れてしまうのではといった意見や、もう少しじっくり考える時間がほしいとの声が出ました。そこで、準備の整った学校から二学期制を試行し、さらに検討を続けていくこととなりました。平成15年度は、本所中学校と鐘淵中学校が、二学期制試行に取り組むこととなり、現在、教育課程の検討に入っています。

#### 確かな学力

この1年間は、「新しい学習指導要領による教育で、子どもたちの学力が低下するのではないか」といった心配が、マスコミなどに多く取り上げられました。

学校で学ぶ時間が週5日となり、指導内容も厳選されたことにより、保護者の方の心配も大きいと思います。

しかし、話題になっている「学力」とは、テストの結果など、知識の量や理解度で図ることのできるものだけが強調されているように思われます。学習指導要領には、「基礎的・基本的な内容の確実な定着」はもちろんのこと、「自ら学び自ら考える力」を育成することが大切だと示されています。つまり、子どもたちが学ぶ喜びを感じながら、知識だけではなく、考える力、課題を見付けて解決する力、自分の考えをはっきりと表現する力を身に付けていくことが大切です。こうした総合的な力が、「本当の学力」と言えるのではないのでしょうか。区内の各学校では、小学校は週27時間、中学校は週28時間の授業時数の中で、子どもたちがしっかりと学ぶことができるよう授業の改善に努めています。

今年度は、小・中学校あわせて10校に、「少人数指導」の担当教諭が配置されました。「少人数指

導」では、算数や数学、英語などの教科で2学級を3つのグループに分けるなど、より少ない集団で指導を進めています。これからも、さらに多くの学校で実践していきたいと考えています。また、英語活動のための外国人講師の派遣を、すべての小学校に拡大しました。初めは、どのようにかわっていくか分からなかった子どもたちも、すぐに講師の先生と仲良くなり、覚えてたの英語を積極的に使うようになりました。

このほか、複数の教師によるチームティーチング、体験や活動を取り入れた授業の実施などに努めています。

今年度からは、目標に準拠した評価（いわゆる絶対評価）が実施となりました。小・中学校では、子どもたちの学習状況について、観点ごとに「A 十分満足できる」「B おおむね満足できる」「C 努力を要する」と評価しています。大切なことは、評価の結果を、次の指導に生かすことです。Cの子どもには、補足的な指導を行うなどして、Bに達成するように努め、AやBの子どもには、さらに発展的な課題にもチャレンジできるようにしていきます。

### 地域の方の力を借りて

多くの学校では、授業のほかに、始業前や放課後の時間で漢字、英単語など、知識の定着を図ったり、10分間読書などに取り組んだりしています。地域のボランティアや図書館職員による「読み聞かせ」をしている学校では、子どもたちが熱心に物語に耳を傾け、本が大好きになっているそうです。

今年から本格実施となった、「総合的な学習の時間」では、子どもが自分で調べる活動を大切にしています。そこで区内図書館では、「調べ学習」に適した図書をたくさん購入しました。時期によっては、用意した本がほとんど貸し出しになるほど、子どもたちの利用が増えています。

また、「総合的な学習の時間」では、地域の方々に、授業協力者として学校に来ていただいたり、体験活動の場を提供していただいたり、大変お世話になっています。子どもたちは、地域の方々から直接、昔の遊びや町の歴史を教えていただいたり、働くことの意味や大切さを教えていただいたりして、「本物から学ぶ」大切さを実感しました。

### 地域体験活動の実施

完全学校週5日制の実施で家庭や地域での生活時間が増えることから、地域で実施される体験活動を支援するための事業が始まりました。子どもたちに様々な体験活動の機会を提供するため、中学校通学区域を単位として青少年健全育成活動関係者（育成委員会・PTA・子ども会・青少年委員など）で実行委員会をつくって取り組まれています。最も早く取り組まれた文花中地区では、畑をつくっての農作業や、動物（ポニー）とふれあうなどを体験することができました。そのほかの地域でも地元のお豆腐屋さんや栄養士を講師に招いて豆腐作り体験教室を開いたり、他校の児童と一緒に隅田川の船の旅を体験するなど、様々な取り組みがなされています。

## 学校選択制度を実施しました

### - 区内の小学校は4校・中学校は2校で抽選 -

平成15年4月に区立の小・中学校に入学されるお子さんの希望選抜校への募集（11月15日締切り）を実施しました。

その結果、通学区域外の小・中学校の希望選抜者は、小学校で292人（入学予定者の18%）、中学校では371人（入学予定者の27%）のお子さんが、それぞれ、申し込まれました。

応募状況及び募集人数（入学可能数）を超えた

#### 平成15年度希望選択の応募状況一覧(小学校)

小学校名	学区域内 住基人数 ( )	応募 人数	入学 見込人数 ( )	募集 人数	備考
緑	56	2	43	60	
外手	66	6	60	100	
二葉	77	20	95	70	抽選
錦糸	50	3	47	100	

抽選校(11月29日抽選)は、別表の応募状況一覧の通りです。 [問合せ]学務課学校事務担当 電話5608-6303						中 和	29	1	23	60	
						言 問	49	3	34	60	
						小 梅	72	10	70	100	
						柳 島	99	10	88	110	
平成15年度希望選択の応募状況一覧(中学校)						業 平	78	17	78	100	
中学校名	学区内 住基人数 ( )	応 募 人 数	入 学 見込人数 ( )	募 集 人 数	備 考	両 国	77	26	98	100	
						横 川	50	20	65	60	抽 選
						菊 川	68	10	70	75	
墨 田	102	11	66	140		一 吾	42	14	49	60	
本 所	122	97	203	180	抽 選	三 吾	61	12	63	100	
両 国	179	121	292	190	抽 選	四 吾	34	3	24	60	
豎 川	106	9	89	140		一 寺	53	12	54	100	
錦 糸	136	7	104	180		二 寺	100	30	120	110	抽 選
吾 一	107	3	39	120		三 寺	30	6	24	60	
吾 二	86	13	78	100		隅 田	19	2	16	40	
寺 島	117	39	120	140		隅 二	42	6	45	60	
向 島	114	18	104	140		曳 舟	52	18	61	60	抽 選
鐘 淵	104	9	77	140		梅 若	61	6	51	65	
立 花	53	27	71	100		中 川	64	3	46	65	
文 花	156	17	139	180		東吾嬢	49	15	59	60	
合 計	1382	371	1382			立 花	29	8	28	60	
学区内住基人数...平成14年度11月15日現在の数値 入学見込人数...通学区内で他の小・中学校を希望し なかった児童と、通学区外からの応募人数の合計						堤	38	1	29	60	
						押 上	86	16	100	100	
						八 広	106	12	97	110	
						合 計	1637	292	1637		

## 雪の中での異文化体験

中学生が12月18日から4日間、国内留学に行ってきました。派遣先は、福島県天栄村にあるブリティッシュ・ヒルズです。各学校からの推薦をうけた生徒70名が参加しました。

生徒は、グループに分かれて外国人スタッフによるレッスンを受けました。英語を使いながらゲームや制作をしたり、雪の中で活動したりします。生徒は楽しみながら、自然に英語で話すようになり、自由時間に積極的にスタッフに話しかける姿もみられるようになりました。

中世の文化の漂う立派な施設で他校の生徒と共に過ごした4日間、生徒はたくさんの思い出とともに、国際理解の心を身に付けて帰ってきました。

## ボランティア募集

押上一丁目にある「わんぱく天国」で、子どもたちに遊びを教え・手伝う管理運営指導員「プレイリーダー」を募集します。

わんぱく天国は子どもたちが自由にのびのびと遊べる遊び場です。あなたの経験や知識を子どもたちに教えてください。

**[従事形態]**原則として、次のいずれか可能な方。 月～金曜日に2従事以上。 土・日曜・祝日に1従事以上。(1従事は、午前9時から午後1時、または午後1時から午後6時 10～3月は、午後5時)

**[対象]** 次のいずれかの条件に合う方。(高校生不可) 18歳以上39歳以下で、子どもの遊びに理解があり、健康な方。 同種のボランティア等の経験や知識が豊富で、健康な方。

**[登録期間]** 平成15年4月1日～平成16年3月31日

**[勤務場所]** わんぱく天国(墨田区押上1-47-8)

**[選考方法]** 書類審査及び面接

**[登録人数]** 若干名

**[協力謝礼]** 1時間あたり600円

**[申込み]** 3月25日(火)までに、市販の履歴書に勤務可能曜日を記入及び3ヶ月以内の写真を貼って、直接または郵送で生涯学習課青少年事業担当まで。〒130-8640墨田区吾妻橋1-23-20(5608-6311)

## 卒業証書の西暦記載について

卒業証書の発行年月日や生年月日については、元号を原則としていますが、保護者の方の希望があれば西暦で発行します。また、外国籍の方は、氏名についても、本人の意志が尊重されますので、学校にご相談ください。

## 善行表彰されました

内閣府が毎年行う善行青少年等の表彰において八広三丁目在住の平林秀敏さんが内閣官房長官表彰に選ばれ、平成14年11月25日(月)に総理大臣官邸で行われた表彰式で受賞されました。中・高生時代からジュニア・リーダーとして子ども会などで積極的に活動し、大学生・社会人になってからも地域の活動やわんぱく天国、区教委主催事業などで活躍されたことを評価されたものです。

## 墨田育英会に寄付

平成14年12月4日、石原一丁目町会婦人部代表の皆さんが庁舎を訪れ、財団法人墨田育英会に対し30万円の寄付金を届けてくださいました。この寄付金は、樋口千代婦人部長を中心として、同町会が行っている集団回収の収益金の一部であり、平成8年より毎年寄付していただいています。当財団では、このような財政支援を活用し、今後も奨学金制度の充実に努めていきます。

## 教育委員会の動き(10月～12月)

教育委員会は、5人の委員で組織され、教育行政の基本的な施策の決定と重要な案件の処理を行っています。会議は、原則として毎月第1及び第3木曜日に定例会を、また必要に応じて臨時会を開催します。

10～12月は、定例会を6回、臨時会を1回開催し、17件の議案を審議し、21件の報告を受けました。

主な議案	墨田区教育委員会会議規則の一部改正について 墨田区教育委員会会議傍聴規制の一部改正について 各地区青少年育成委員会に対する感謝状の贈呈について
主な報告	校外施設の今後のあり方について 決算特別委員会の審議状況について